

「なぜ今ウォーカブルなのか」

国土交通省 関東地方整備局
都市整備課長
今佐和子



ウォーカブル シティ

ってなに？

2

ググってみると……

ウォーカブルシティ(Walkable City)

「歩きやすい(歩いて行ける)街」。

自動車を使用せずに歩いて移動できる
(バスなど公共交通機関の利用を含む)
街のこと。

出典: <https://ideasforgood.jp/glossary/walkable-city/>

3

ウォーカブルシティのイメージ

*個人の感想です。



4

ウォーカブルシティのイメージ

*個人の感想です



ググってみると……

ウォーカブルシティ(Walkable City)

「歩きやすい(歩いて行ける)街」。

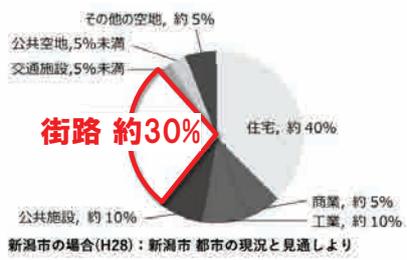
自動車を使用せずに歩いて移動できる
(バスなど公共交通機関の利用を含む)
街のこと

**定義は明確でないけれど
どんな流れで広まっていったのか
概念的に紹介します**

出典: <https://ideasforgood.jp/glossary/walkable-city/>

6

都市空間の構成



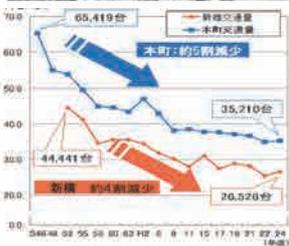
「街路が変われば世界が変わる」
By ジャネット・サディク=カーン



戦後、日本の道は、自動車交通量を基準に造られてきた。



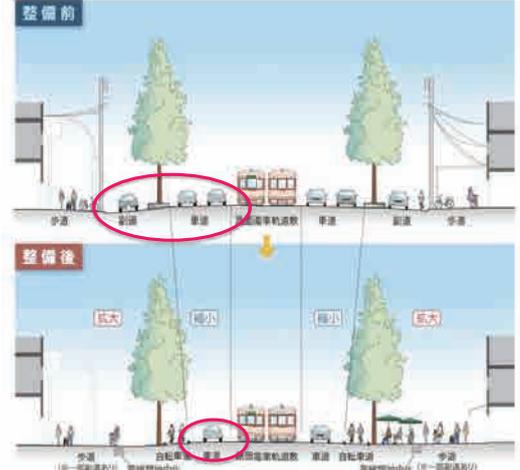
環状道路が整備され、
まちなかの交通量が減少傾向



街路空間の再構築・利活用



車道を片側3車線⇒1車線





常陸大宮ヘルスロード計画

駅と病院を結ぶ道で
健康増進に役立つ道になるよう
街路再編を検討中



写真: 常陸大宮市HP <https://www.city.hitachiomiya.lg.jp/page/page005787.html>

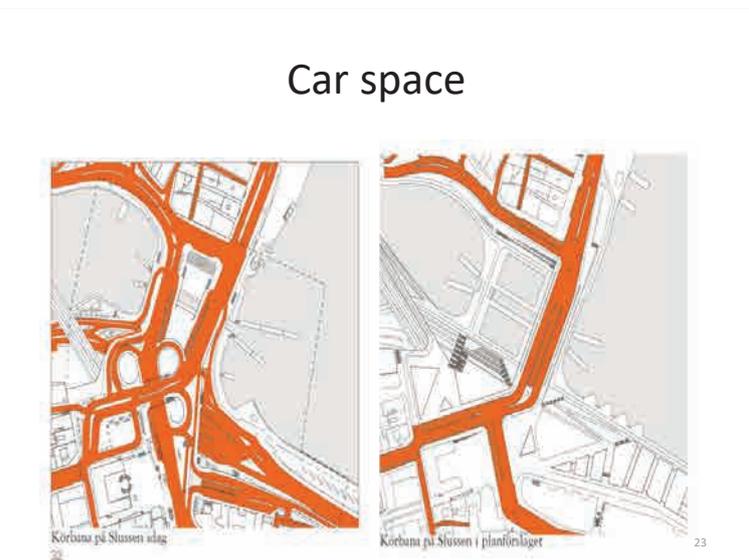
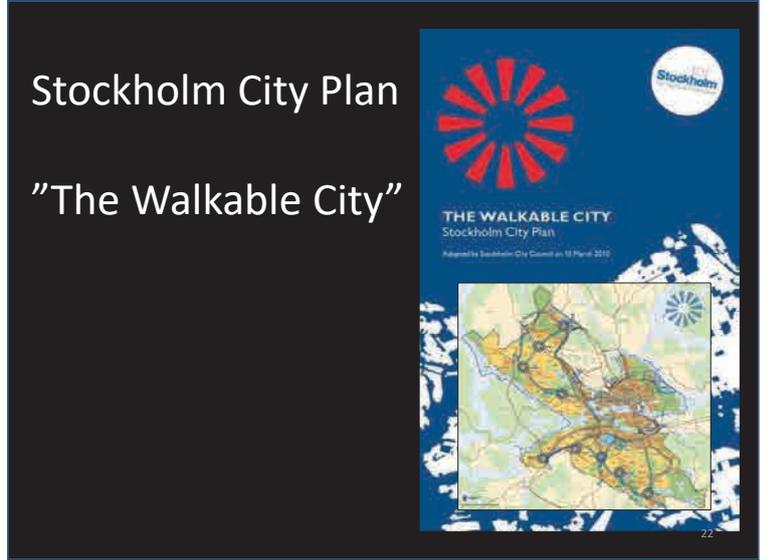
世界の ウォークシフト (クルマ→人)は もっと進んでいる

高速道路→人 (パリ)



車→公共交通&人(ストラスブール)





なぜクルマ⇒人??

私見

✓ CO2削減

✓ 交通安全

✓ 地域活性化・賑わいづくり

街路の歩行者空間化は小売店・飲食店の売り上げを上げるのか、下げるのか?～ビッグデータを用いた経済効果の検証～

プレスリリース
2021年10月29日

1. 発表者

吉村 有司 (東京大学先端科学技術研究センター 共同正体づくり分野 特任准教授)
新藤 勉介 (東京大学先端科学技術研究センター 共同正体づくり分野 特任准教授 (研究当時))
小泉 秀樹 (東京大学先端科学技術研究センター 共同正体づくり分野 教授)

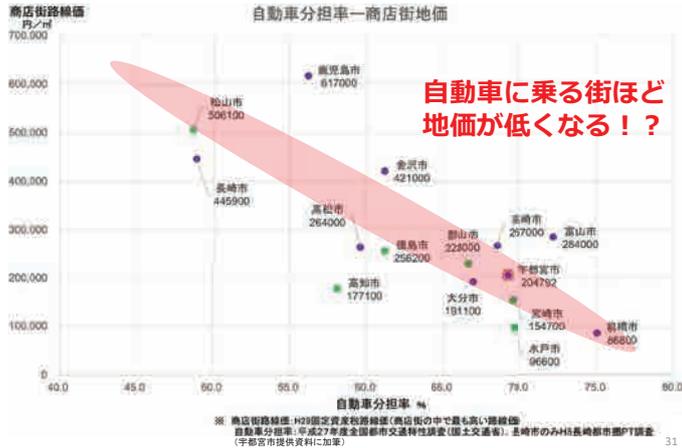
2. 発表のポイント

- 歩行者中心の街路に立地する小売店や飲食店の売り上げは、歩行者空間化に立地するそれよりも高いことを定量的に示した。
- 市中心の道路から歩行者や自転車中心の道路への転換に係る、周辺環境への経済的影響を分析した結果、レストランやカフェといった飲食店の売り上げにポジティブな影響をもたらすことが明らかになった。
- 本研究結果はウィズコロナに対応した都市計画やまちづくりが進むなか、パンデミックへの備えと経済活動を両立させる為の街路の再整備といった政策立案や、住民との合意形成のための強い根拠となり得ると期待される。

<https://www.rcast.u-tokyo.ac.jp/ja/news/release/20211028.html>



地価と自動車分担率の関係



なぜクルマ⇒人??

私見

- ✓ CO2削減
- ✓ 交通安全
- ✓ 地域活性化・賑わいづくり
- ✓ 私たちの豊かな暮らし



日本の都市も
クルマ中心から
ひと中心へ...

H31.3 全国会議立ち上げ



マチミチ会議特別編 Janette Sadik-Khan氏 来日講演会 (R1.5)



Janette Sadik-Khan氏 来日講演会



都市の多様性とイノベーションの創出に関する懇談会（R1.2～6）



都市の国際競争力やイノベーションから、**女性や高齢者の活躍、孤独、子育て**まで多分野のゲストを招聘し、まちづくりの方向性を議論

37

Walkable Eye level Diversity Open

歩きたくなる

まちに開かれた1階

多様な人の多様な用途・使い方

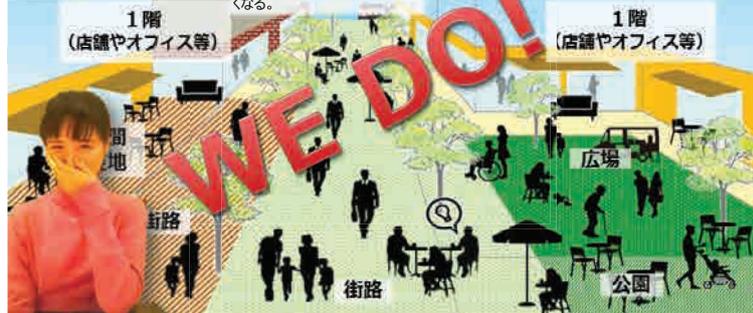
開かれた空間が心地よい

居心地が良い、人中心の空間を創ると、まちに出かけたい、歩きたくなる。

多様な人々の多様な交流は、空間の多様な用途、使い方の共存から生まれる。

歩行者目線の1階部分等に店舗やラボがあり、ガラス張りで見えたと、人は歩いて楽しくなる。

歩道や公園に、芝生やカフェ、椅子があると、そこに居たくなる、留まりたくなる。



「ウォークابل」とは？

~~歩きやすい~~ < 歩きたくなる



39

じゃあ、どんな街なら歩きたくなる？



小山で歩いてもウォークابل、どんな街なら歩きたくなる？

歩行者目線、歩行者目線の高さで歩くと、まちに出かけたい、歩きたくなる。

歩行者目線の高さで歩くと、まちに出かけたい、歩きたくなる。

歩行者目線の高さで歩くと、まちに出かけたい、歩きたくなる。

※個人の感想です

40

例えば私の場合は…

▼ 目次

1. 安心して歩ける。歩いていて危なくない。
2. 歩いていて楽しくなるような小さなお店たち。
3. 沿道の建物の壁面がアクティブである。
4. 気軽に休める椅子やベンチがあること。
5. オシャレな人が歩いていること。
6. 何かやっているかもという期待感。
7. 挨拶がある。ばったり出会う。交流がある。

まとめ：それぞれのウォークابل

※個人のブログです。



41

街路は
誰もがアクセスできる
最も基礎的な公共空間

「都市の本質は交流」

42

ストリートデザインガイドライン 一居心地が良く歩きたくなる街路づくりの参考書— R2年3月31日 策定

ガイドライン策定の背景

- 市民の公共空間を、ウォークアブルな空間へ。⇒ 令和元年「ストリートデザイン懇談会」を設置、ストリートデザインのポイントと考える力を提示。
- 様々なプレイヤーのストリートは考えることのできるとの意識を育て、広げ、支え、「Act Now!」(できることから、やってみる)の一期になることを期待。
- 今後の実例の積み重ねや知見の蓄積を踏まえ、適時、適切に見直しを行っていく。

【検討体制】ストリートデザイン懇談会：令和元年8月～令和2年2月に渡り、計7回開催
 座長：岸井俊彦氏（日本大学特任教授）、副座長：藤村雅彦氏（東京藝術大学准教授）
 委員：黒山昌雄氏（東京大学助教）、小嶋文長（埼玉大学教授）
 資料委員：園田聖子氏（国土交通省）、三浦詩乃氏（横浜国立大学助教）
 オブザーバー：東京都、神戸市、姫路市、UR都市機構、豊原庁、関係官庁等、国土交通省道路局、車道局、国土交通省都市局

1章 ストリートを中心に改変(リノベーション)する意義

- 人中心のウォークアブルな公共空間の必要性
- ストリートを改変することの多面的な効果
- これからのストリートに向けて
- ストリートを改変していくプロセス

2章 人中心のストリートを構成する要素

- ストリートの基本的な考え方
- ストリートにおけるアクティビティ
- ストリートのデザイン・設え
- ストリートにおけるプレイヤー
- 行政手続き・意識すべきこと

3章 人中心のストリートを支える交通環境づくり

- 人中心のまちなかに向けた交通環境づくり
- 自動車交通への対応
- 徒歩や自転車等のスローな交通を包含した交通環境づくり
- 荷さばき等の駐停車需要への対応
- 関係機関との協働

4章 人中心のストリートを支える仕組み

- 人中心のストリートへ改変を進めるための各種法律・予算・税制等

5章 参考文献・事例

都市再生特別措置法 & 道路法 ともにR2 法改正

ウォークアブル推進事業(区域)と歩行者利便増進道路(ほこみち)



国土交通省
新型コロナウイルス感染症の影響を軽減し飲食店等の復興へ
地方公共団体等と連携して申請すると
**テイクアウトやテラス営業などのための
道路占用の許可基準を緩和します**

国土交通省では、新型コロナウイルス感染症の影響を受ける飲食店等の復興を支援するための緊急措置として、地方公共団体と地域住民・関係者が一体となって取り組む沿道飲食店等の路上利用の占用許可基準を緩和することしました。
また、地方公共団体に対しても同様に取り組みいただけるよう要請しています。

今回の緊急措置のポイント

内容	① 新型コロナウイルス感染症対策のための暫定的な措置であること ② 「3密」の回避や「新しい生活様式」の定着に対応すること ③ テイクアウト、テラス営業等のための仮設施設の使用であること ④ 施設付近の清掃等に協力いただけること
主体	地方公共団体又は関係団体*1による一括占用*2 *1 地元関係者の協議会、地方公共団体が支援する民間団体など *2 個別申請などの申請は不要 *3 若しくは地方公共団体等に相談ください。
場所	道路の構造又は交通に著しい支障を及ぼさない場所 * 歩道上においては、交通量が多い場所は3.5m以上、その他場所は2m以上の歩行空間の確保が必要 * 沿道歩道の道路にも設置可能です。
占用料	免除（施設付近の清掃等に協力いただける場合）
占用期間	令和2年11月30日まで

【お問合せ】
国土交通省 道路局 路政課 道路利用調整室 占用許可担当



ほこみち研究会
3時間前
あらっ千葉駅西口に素敵な空間が...

ニシノクチ
3時間前
千葉駅西口にニューフェイス登場●(本日限定)

変遷して回帰を楽しめる
新しい生活様式のまちづくり

**歩道空間オープンテラス
社会実験**

県では、新しい生活様式に対応したまちづくりのあり方を探るため、社会実験に参加する飲食店オーナーや商店街振興組合等を募集します。最新の社会実験までのステップと応募条件を確認の上、WEBでご応募ください。

募集主体：飲食店、商店街振興組合、まちづくりプロジェクトチーム



今日（概念編）のまとめ

- ~~ウォーカブルな~~「クルマ→人の」
「歩きたくなる」まちづくりが始まっている
- 空間整備&活用 + 交通戦略
+ 個人のライフスタイル転換
 ↑
 この講座はココがメイン
- どんなまちなら歩きたくなるか考えてみよう

次回は実践のポイント！